

平成25年8月八戸市教育委員会定例会会議録

- 1 開催日時 平成25年8月28日(水) 午後1時30分
- 2 場 所 市庁本館3階 議会第1委員会室
- 3 委員氏名
- | | |
|----------|-------|
| 委員長 | 岡本潤子 |
| 委員長職務代行者 | 小柴一弘 |
| 委員 | 武輪節子 |
| 委員 | 築瀬眞知雄 |
| 教育長 | 伊藤博章 |
- 4 職員氏名
- | | |
|--------------|-----------|
| 教育部長 | 佐藤浩志 |
| 是川縄文館長 | 小林和彦 |
| 教育部次長兼教育総務課長 | 澤田多嘉男 |
| 教育部次長 | 嶋脇郁夫 |
| 図書館長 | 津取場重行 |
| 学校教育課長 | 齋藤信哉 |
| 教育指導課長 | 正部家光彦(欠席) |
| 社会教育課長 | 船田泰寛 |
| 是川縄文館副館長 | 前田美智子 |
| 総合教育センター所長 | 井上貫之 |
| 博物館副館長 | 小笠原善範 |
| 北地区給食センター所長 | 中里親弘 |
| 東地区給食センター所長 | 板橋稔 |
| 西地区給食センター所長 | 清川彦一 |
| 市史編纂室長 | 藤田俊雄 |
| 教育総務課参事 | 尾崎雅祥 |
| 社会教育課参事 | 田中勉 |
| 教育総務課副参事 | 小笠原光則 |

(事務局員) 教育総務課主査 佐藤正樹

岡本委員長	<p>ただいまから、平成 25 年 8 月の教育委員会定例会を開会いたします。 本日の議事録署名は武輪委員を指定します。 それでは教育長から、主な会議・行事等について説明をお願いします。</p>
伊藤教育長	<p>(資料に基づき説明)</p>
岡本委員長	<p>ただいまの説明につきまして、ご質問などありましたらお願いします。</p>
小柴委員	<p>参考までに伺いたいのですが、8月8日に災害時対応タブレット端末受納式というのがあるんですけども、このタブレットのメリットはどういうところなのかということと、本体だけなのか、それとも何かシステム化されたものでいただいたものなのかというあたりをお伺いしたいと思います。</p>
船田社会教育課長	<p>昨年、NTT東日本様から公民館に、災害時に電話が使えなかったものですから、優先的に使えるようにということで公衆電話回線を引っ張っていただいて、ロータリークラブさんから電話をいただいて、ある程度いろんな情報の通信手段の一つとして整備しました。今年度、公民館は今までインターネット回線はADSL回線だったんですけども、それをすべて光回線にしましたところ、NTT様の御厚意により、公民館の無線LANに加えてWiFiの基地局を無償で工事していただきました。そしてさらに、NTT東日本様からWiFiのタブレット10台を災害用に役立ててくださいと無償貸与ということで、壊れた場合もNTTさんのほうで無償で直したり、当然使用料も無償ということで、10台寄贈いただきまして、そのうちの5台を沿岸地区、鮫、湊、小中野、白銀、三八城地区に常時その災害用タブレットを置くことにしました。その他の5台につきましては、市のほうで保管して災害時に優先的に手配して、併せて10台を有効活用するというようにしております。この災害時用タブレットによって、いわゆる携帯電話のインターネットコンテンツ、スマートフォンなどでも見られますけれども、持っていない方もこのタブレットを使って自由に見られる。あるいは、災害時の安否情報web171の登録とか、持っていない方もそれを使っているような情報を登録できるとか、情報の多重化ということでさらに強化されたのではないかと思います。</p>
小柴委員	<p>はい、分かりました。</p>
岡本委員長	<p>それでは、これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議いたします。はじめに、議案第45号「八戸市図書館条例施行規則の一部を改正する</p>

	規則の制定について」事務局からの説明をお願いします。
津取場図書館長	(議案第 45 号「八戸市図書館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」に基づき説明)
岡本委員長	ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。
	(質疑なし)
岡本委員長	それでは、議案第 45 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
	(異議なし)
岡本委員長	ご異議がありませんので、議案第 45 号を原案のとおり決定いたします。
岡本委員長	次に、議案第 46 号「八戸市博物館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」事務局からの説明をお願いいたします。
小笠原博物館副館長	(議案第 46 号「八戸市博物館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」に基づき説明)
岡本委員長	ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。
	(質疑なし)
岡本委員長	それでは、議案第 46 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
	(異議なし)
岡本委員長	ご異議がありませんので、議案第 46 号を原案のとおり決定いたします。
岡本委員長	次に、議案第 47 号「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」事務局からの説明をお願いいたします。

前田是川縄文館 副館長	(議案第 47 号「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」に基づき説明)
岡本委員長	ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。 (質疑なし)
岡本委員長	それでは、議案第 47 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。 (異議なし)
岡本委員長	ご異議がありませんので、議案第 47 号を原案のとおり決定いたします。
岡本委員長	以上で議案の審議は終わりました。次に報告事項に入ります。 はじめに、「東地区及び南郷地区給食センター調理等業務の民間委託について」事務局からの説明をお願いいたします。
齋藤学校教育課長	(資料「東地区及び南郷地区給食センター調理等業務の民間委託について」に基づき説明)
岡本委員長	ただいまの報告につきまして、ご質問がありましたらお願いいたします。 (質疑なし)
岡本委員長	無いようですので、次に「AL Tの後期の派遣について」事務局からの説明をお願いします。
井上総合教育センター 一所長	(資料「AL Tの後期の派遣について」に基づき説明)
岡本委員長	ただいまのご説明につきまして、ご質問がありましたらお願いいたします。
岡本委員長	何年も委員をしてお聞きしていなかったような気もするんですけども、先ほど教育長が生活ということをお話していらっしゃいましたが、この方たちの住居は、もう大体エリアが決まっているので、エリアの近くにはなっているのでしょうか。

井上総合教育センター 一所长	<p>ALTの住居につきましては、最初ALTは1名からスタートいたしまして、センターにALTがいてセンターから各学校ということでしたので、9名までのところにつきましてはセンターのすぐそばにアパートがございます。ALTが帰るたびにアパートを契約しなおすと契約等が大変なので、教育委員会でアパートを借りてALTの公舎という形で活用してまいりました。今回は新たに9名が加わりましたので、市川地区であるとか、尻内地区、白山台地区、大館地区、東中学校の付近等、9名分をそれぞれの地域にアパートを借りています。学校では20日にベース校の校長先生と担当の先生に来ていただいて、初顔合わせを行ったのですが、その後その地域に住むということで、学校によっては町内会長さんに紹介していただいたりとか、そういうことで町内でもALTを歓迎してくださっているという状況になっております。</p>
岡本委員長	<p>ありがとうございました。</p>
岡本委員長	<p>それでは次に「『青少年のための科学の祭典2013』八戸大会の実施について」説明をお願いいたします。</p>
井上総合教育センター 一所长	<p>(資料「『青少年のための科学の祭典 2013』八戸大会の実施について」に基づき説明)</p>
岡本委員長	<p>ただいまの報告につきまして、ご質問がありましたらお願いいたします。</p>
小柴委員	<p>お礼でいくつかあるんですが、一つ目は、年齢を問わず結構楽しめる行事であったなという感じがしました。私自身も楽しめたし、たまたま帰ってきていた長男もこの行事のことを話したら一緒に行きたいということで、それで彼なりに見て「お父さんこれはこういうことで、こういう理論でどうのこうの」ということで私に説明してくれていましたから、息子なりに楽しめていたんだなということを感じました。それから様子を見ると、お父さんお母さんと子どもさんが一緒に楽しんでいるというあたりもいい姿だなと思いました。</p> <p>それから2つ目は、井上所長さんの息子さんが例の人気のドラム缶つぶしで1回目が失敗して、あの失敗も結構いいことだなという感じがしました。我々が普段接するのは、音楽にしてもCDを通して完成品しか聴けない、なかなか失敗した演奏は聴けないと。それから実験しても、失敗すればそれはもう全くペケみたいな、そういうイメージですけど、そうじゃなくて失敗というのはたくさんあるんだと。それからあの失敗を通して、もちろん失敗した息子さんもいろいろ考えたでしょうし、それから周りで見っていた彼らも「いや、あそこがまずかったんじ</p>

<p>井上総合教育センター 一所长</p>	<p>やないか」とか、失敗から結構学んでいるなという感じを受けました。</p> <p>3つ目は、NHKでもよく子ども科学相談などとやっていますが、子どもの興味関心といいますか、大人が考える以上はかなり深いものがあるって、そういう意味では子どもにとって非常にいい機会になったなど。これからもさらに発展させていただければと思います。どうもありがとうございました。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>同じく、大変いい取組だと思うんです。18回ということで、継続発展させてこられた努力というのは並大抵のものではなかったと思っています。それにももちろん事務局だけではなくて、中高生あるいは学校の協力なしには成し遂げられないのではないかと考えているので、これからも是非継続していただきたいなと思っております。</p> <p>ちょっとお聞きしたいのは、来場者数とスタッフ数のところ、今年の分が載っているのですが、ここ2、3年の数というのは分かりますか。</p>
<p>井上総合教育センター 一所长</p>	<p>手元に正確な資料はございませんけれども、昨年は残念ながら6,000名まではいきませんでしたけれども、5千数百名。一昨年もそれくらいだったと記憶しています。</p>
<p>岡本委員長</p>	<p>すみません、私調べたんですけども、23年が4,368人で、24年は5,272名となっていて、2年前よりも1,000人ぐらい多くなっているということです。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>それをお聞きしたのは、その増えている理由というのが、何か感じていることはあるものなんでしょうか。偶然なんでしょうか。それとも企画なんでしょうか。というのは、裏にブース・ワークショップの種類が65種類あって、非常に面白そうというか、興味を引くような感じなんです。そういったことも含めて何かこう増えてきている理由が、頭打ちになる部分はたぶんどこかで出てくるかもしれませんが、増えてきているという理由が何かこう特に大きなところで感じていることはありますでしょうか。</p>
<p>井上総合教育センター 一所长</p>	<p>まず、来ている子どもたちを見ますと、幼稚園、保育園の子どもたちがお父さんお母さんに連れられて来たり、それから学童保育のところでも夏休み中も行っているところが一緒にその日連れてきて、開会式のときにもたくさんおりましたけれども、そういったところが来てくれるようになってきているというところが、数を支えている大きなところだと思います。</p>

	<p>あと内容が昨年と同じというところではつまらないというような感想もありましたので、内容の部分に新しいものをできるだけ入れると、そういう工夫をしております。全国の科学の祭典などから様々な情報を得て、毎年新しいものを入れていきたいと思いますというので、特に今年度実施して、今年のうちには新たなものを入れて、もう少し早くこういうものを行うというコマーシャルができれば、もっと数が増えるんじゃないかと。今回やりながらそういう意見も出ましたので、今年は今年度中に来年度行うものをほぼ決定して、新たなものも来年入れられる余地も残しながらほぼ決定して、早い段階から学校等を通じてコマーシャルしたいなというふうに考えております。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>そういう努力があつてのものだと思うんですけども、私も聞きたかった一部を答えてくださったんですが、ブース・ワークショップの数とかテーマとか、そういったものはどういう手順で決めているのかなというふうに思ったものから、今のいろんな全国の祭典とかの他に、何かこう手順として工夫していることはありますか。決め方ですね。</p>
<p>井上総合教育センター 一所長</p>	<p>やはりこの中身を決めるのは本当に大事なところだと思っておりますので、まずアンケート等を取れる範囲で取って、楽しかったとか、いまいちだったというところ。そして、いまいちだったから無くするというのではなくて、そこにある科学的な要素というものを、どうしたら面白く見せることができるんだろうかという工夫、そういうものも実行委員会の中で話し合えるような、そういう体制を去年、一昨年から徐々に加えてきているところです。やはり面白いという部分、興味関心を引くことができるということが科学への入り口になりますので、そういうものを工夫する中で、持っていけたらいいなと。そして手順としては、まず昨年の内容を見直して継続したほうがいいのか、それから変えたほうがいいのか、継続したほうがいいのかについてはそのまま継続していいのか、それとも一部変えたほうがいいのか。全体の数は同じくらいの数ですので、新たに入れるものについて情報を集めて、あとは予算との相談で消耗品の代金が予算の中に収まること、あとはやはりお土産がある、工作して自分で持ち帰る、体験して自分で持ち帰れるものについてかなり人気がありますので、そういうものを増やしていく。そういうふうなことで、内容が決まっているという手順になっております。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>ありがとうございます。大変ご苦労も多いと思うんですけども、やはり理科、科学だけではなくて、今、井上所長がお話したものづくりへの興味関心、こういったことを通して科学的な思考力とか創造力を育てるという課題解決に適した行事だと思うので、是非今のような工夫をしながら継続、発展させてほしいなと願っております。</p>

<p>岡本委員長</p>	<p>私も小柴先生がおっしゃったように、1番最初、当然ドラム缶が大きい音を出すものだと、あの日があれば1番最初だったので、大変自分自身も期待して、科学がとても苦手な自分ですけれども、そういうことがあるんだということを間近で見ることを楽しみにしていて、ちょうどうちの園児もおりましたので、「鳴るね」と言って鳴らなかったときの子どもの顔がとても面白くて、それがやはりおっしゃるようにいいんだなということを改めて感じた場面でした。ノーベル賞を取るような方であっても、その影にいくつもあるということを、やはりあまりにも今の子どもたちは完成品を見過ぎているという嫌いがあるので、ああいう場面はとてもいい場面だなというふうに思いました。</p> <p>あと、今築瀬委員もおっしゃったように、現象を現象として見るのは面白いんですけども、その奥にある面白みとか、なぜというあたりをあの場面でもう少し、次があるというようなことに結び付くようなやり方も面白いだろうなと思います。毎回内容を考えるというのはとても大変だと思いますし、この中の先生方もたくさん参加なさり、それぞれポジションがあって、それぞれご苦労があったこともお聞きしましたけれども、そういう現象以外のものをいかに子どもたちに伝えるかというのが、この科学の面白みなんだろうなというふうにして拝見して参りました。皆様お疲れ様でございました。</p>
<p>岡本委員長</p>	<p>それでは、その他事務局から報告事項はございますでしょうか。</p>
<p>岡本委員長</p>	<p>事務局からは以上ですけれども、その他、委員の皆様から何かありましたらお願いします。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>地域密着型教育に関してなんですが、先日、ある中学校の体育祭に行ってきました。そのときに、4月の定例会でも私ちょっと発言しましたが、地域密着型教育というのは八戸市独自のスタイルで、八戸市の義務教育が誇る姿だと私は思っているんですね。それがどの程度浸透してきているのかというのは、普段の活動とか行事とか、そういうところに出てくると思うのですが、その中学校では体育祭で、通常だと売店とかの準備や後片付けなんかは保護者も地域の方も手伝いますよね。でも、この学校では、出発時のスターターとか各種目の用具係、それから救護係として保護者であるお医者様とか、直接的な仕事を保護者や地域の方々が行っていたんです。その方たちを運営協働者と呼んで、協力者ではなくて、共に働くということですね。そういうふうにしてやっていたと。3年前から、こういう運営協働者ということで取り組み始めたという校長先生、教頭先生の話だったんですが、そのような形が文化祭でも、例えば装飾とか何か作るものがありますよね。そういったものを地域の方が指導するとか、一緒に飾り付けの準備をす</p>

るとか、それから生徒を見守ることも必要ですね。先生方の手が足りないわけですから。そういった見守りも行ったりしているということだったんです。そして、帰ってから去年の実践報告事例集を見ました。そして、その中学校の報告のところに、そのとおりに書いていました。その他にも演劇の衣装とか大道具、小道具係とか、そういったこともやっているみたいです。こういった具体的な姿を見たときに、理屈とか理論だけではなくて、実際にこの地域密着型教育が着実に浸透してきているということを感じることができたんです。ですから、保護者、地域住民との協働による開かれた学校づくり、これも一つの地域密着型教育のテーマなんですけれども、それが着実に行われているなというのを感じて、とても嬉しくなりましたので、報告したいなと思ったんです。

それともう一つは、その姿を見ている、いわゆる地域、保護者、先生方が一緒に違和感なく溶け込んでいる姿を見ている生徒は、やっぱり育っていくんだろうと思うんです。自分が大人になったとき、こうなりたいと思う子がいると思うんです。そう信じています。そういうふうなことで、やっぱり故郷、あるいは故郷の人たちに対する誇りとか愛着、そういう子どもを育てるのも大きな目標ですから、そういったことでも生徒も育っていると思いました。ですから、こういった地道でもきちんとした取組をしている学校を、今後の研修会とか会議等でも、事例集に載っているのみんな見ていると思うのですが、そういった特徴的なことを取り出して是非紹介したり、お互いの研修の場にそういう話題を出して行って、行政としても積極的に推進していただければ有り難いなと感じてきたところでした。

岡本委員長

とても良いお話をありがとうございました。

岡本委員長

それでは他にはないようですので、これを持ちまして、平成25年8月の教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。

(午後2時16分終了)